

THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

ロータリーのマジック



縦から横へ
横の繋がりで感動を創ろう

RI会長 ステファニーA・アーチック 2024~2025

富津中央RC会長 神子 恒

国際ロータリー 第2790地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.2783 第18回例会 2024. 11. 14 曇

特別号

寒郡ガバナー公式訪問

クラブ協議会 俳句セッション



【クラブ協議会 俳句セッション報告】

ガバナー補佐 榎本守男

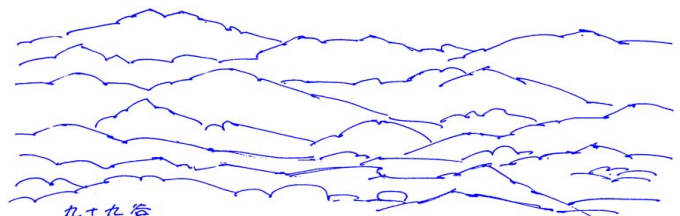
令和6年11月14日、2790地区寒郡ガバナー公式訪問例会も滞りなく終了し記念撮影の後、クラブ協議会が開催されました。協議会出席者は30名(会員26名、ゲスト4名)でした。今年度の第5グループの活動のテーマは「みんなで増強そして楽しい親睦」です。それに沿って、クラブ協議会も従来

の講演を聞く方法から句会方式に変化させました。

ロータリーの友情をお題とした友の俳句と一般の俳句の二句を投句して頂きました。五七五の十七文字で表現される簡潔であるがゆえに難しい俳句に戸惑いながら初心者からベテランまで楽しく挑戦して頂きました。

選者には富里RC寒郡政雄会員と富津中央RC三枝一雄会員に務めて頂きました。お二人は「ロータリーの友」の俳壇の常連であり、地域での俳句活

〒293-0043 富津市岩瀬 841-3
いち川旅館
Ichikawa ryokan
841-3 Iwase Futtsu-shi Chiba-ken,
293-0043
Tel. 0439-65-0177 Fax. 0439-65-0178
URL <http://www.futtsuchuo-rotary.org>



九十九谷

動を永きに亘って牽引されてこられた方です。選者のおしゃれでウィットにとんだ句評で、会場を和ませて頂きました。2790地区寒郡茂樹ガバナー、原地区幹事長にも投句頂き感謝します。

これより俳句セッションの進行次第と参加者の俳句及び写真を掲載させていただきます。

尚、今日の協議会に出席できない会員の為にロータリーに関する標語もお願いしましたので掲載します。一読ください。

【クラブ協議会俳句セッションプログラム】

進行 久保G 幹事



挨拶

ガバナー補佐 榎本守男



俳句セッション

進行 志波生朗 会員



選者紹介 挨拶 富津中央RC 三枝一雄会員
富里RC 寒郡正雄会員
アシスタント 藤江みどり

句会説明 (清記・選句) について三枝一雄会員
寒郡会員 特選 2句
三枝会員 特選 2句

一般選の選者は、ガバナー・補佐・会長・幹事

御礼品贈呈 選者 三枝会員・寒郡会員
神子会長

記念品贈呈 選者 三枝会員・寒郡会員

榎本G補佐

ガバナー講評

寒郡ガバナー

協議会終了 謝辞

渡辺G幹事

選者紹介



選者 三枝会員



選者 寒郡会員

選者俳句紹介

(友) 葱を焼く先に逝くなど云ふ仲間

(一般) 思ひより梯子は高し柚子を挽ぐ

富里RC 寒郡政雄

(友) 新しき友ふえて冬あたたかし

(一般) うちとけて話はづむやなめこ汁

富津中央RC 三枝かずを

ゲスト俳句紹介

2790地区 寒郡茂樹ガバナー



(友) 韓の宴友のカタコト冬ぬくし

(一般) 卓話すみ館山道は冬うらら

2790地区ガバナー 寒郡茂樹

(標語) 友人がたくさんできたロータリー

(一般) ロータリー充実してる雪化粧

2790地区幹事長 原幸司

友の作出来栄え誇る菊まつり

須藤隆

部活動友と紡いだ優勝旗

飯島由美

亡き友を思ひ出させる彼岸花

山下厚

○三枝かずを選



<特選>

親友と焚火を囲み語りあふ

志波生朗



「友」（当日の俳句の題）選句

○寒郡政雄選



<特選>

友来たり鍋に堂々ずわい蟹

城臺彩衣



<並選>

新しき友増えて冬あたたかし

三枝かずを

還暦の友と寄鍋セピア色

石井智信

<並選>

遠来の友垣迎へ秋惜しむ

石渡 鋼

友ありて句会楽しむ初冬かな

小野恒靖

冬枯や心を癒すロータリアン

栗原典子

久かたの友と語らふ冬の海

新橋悠実瑛

かき鍋で炉辺の友と長き夜

榎本守男

亡き友を思ひ出させる彼岸花

山下 厚

友の顔会へば笑顔で冬ぬくし

諸岡賛陸

初霜や友と踏みしめ畦の道

久保顯彦

* 上の久保会員の句は、チャットAi作成句です。情緒的等の条件をいくつも出して作成

○寒郡茂樹ガバナー選

<特選>

かき鍋で炉辺の友と長き夜

榎本守男

<並選>

友来たり鍋に堂々ずわい蟹

城臺彩衣

遠来の友垣迎へ秋惜しむ

石渡 鋼

友ありて句会楽しむ初冬かな	小野恒靖
還暦の友と寄鍋セピア色	石井智信
友の作出来栄え誇る菊まつり	須藤 隆
久かたの友と語らふ冬の海	新橋悠実瑛
北風や扉開けばやあ(友)の声	星野 誠
愛犬もわが身と同じなれの果て	朝月真次郎

○榎本守男ガバナー補佐選

<特選>

文化の日浮かぶ往時の友の顔 若鍋武良

<並選>

遠来の友垣迎へ秋惜しむ	石渡 鋼
新しき友増えて冬あたたかし	三枝かずを
韓の宴友のカタコト冬ぬくし	寒郡茂樹

○神子恒富津中央 RC 会長選

<特選>

ロータリー奉仕の心友をよぶ 神子勝美

<並選>

久かたの友と語らふ冬の海	新橋悠実瑛
北風や扉開けばやあ(友)の声	星野 誠
秋淡く友と集ひて笑顔満つ	岡元 誠

○朝月真次郎富津中央 RC 幹事選

<特選>

集ふ友今日も逢へる嬉しさか 神子恒

<並選>

かき鍋で炉辺の友と長き夜	榎本守男
北風や扉開けばやあ(友)の声	星野 誠
友亡くし一人寂しく冬の旅	渡辺哲夫
亡き友を思ひ出させる彼岸花	山下 厚
先人の背を視て学ぶロータリー	白石幸久
文化の日浮かぶ往時の友の顔	若鍋武良
ロータリー奉仕の心友をよぶ	神子勝美
還暦の友と寄鍋セピア色	石井智信

「一般」選句

○寒郡政雄選

<特選>

チャイム鳴り子らがかけ出す冬あかね

新橋悠実瑛

<並選>

筋トレとカロリー比べ焼いもを	相川恵津子
刺身より煮つけ艶やか金目鯛	榎本守男
天高し観音様も笑み浮べ	若鍋武良
白銀に心躍らせ信濃路へ	渡辺哲夫
星空に見惚れて歩く冬の朝	山下 厚
うちとけて話はづむやなめこ汁	三枝かずを
母笑ふ湯豆腐囲み目から汗	栗原典子

○三枝かずを選

<特選>

浜風にうなづくばかり野水仙 須藤隆

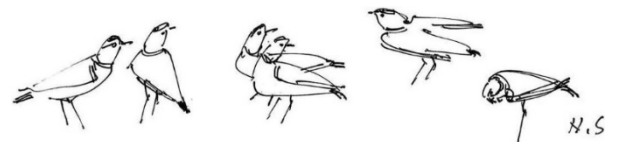
<並選>

天高し観音様も笑み浮べ	若鍋武良
白銀に心躍らせ信濃路へ	渡辺哲夫
チャイム鳴り子らがかけ出す冬あかね	新橋悠実瑛

霜降りて足跡残る田んぼかな	神子勝美
思ふより梯子は高し柚子を挽ぐ	寒郡政雄
大雪や扉の外はとおせんぼ	岡田良弘
冬晴に向かふ笑顔のロータリアン	星野 誠
秋の日にガバナー囲む昼の膳	岡元 誠
千両の蕾まばらに時を待つ	小野恒靖
冬の朝ザクリザクリと田んぼ道	椎熊邦広

選句模様







仰臥する家猫しらぬこたつかな 石井智信
 ローター充実してる雪化粧 原幸司
 卓話すみ館山道は冬うらら 寒郡茂樹

一般選(友の句)

フラ習い新しき友知り得たり 相川恵津子
 我の孫ボーイフレンド出来るかな 椎熊邦広
 凍てつく夜冷えしビールと友の笑顔 岡田良弘

お知らせ

- *クラブ協議会俳句セッションの様子はガバナー月信に投稿予定。
- *俳句特選については、ロータリーの友に記事として投稿する予定であるが掲載は不明。
- *特選作品は次年度活動計画書に伝統祖述として掲載し称える
- *一般作品については、会報特別号に作品をすべて掲載する。

編集後記

寝ても覚めても俳句が気になる。
 頭の中は、ただ真っ白で、しゃれた言葉の一つも浮かばない日が続きました。
 “俳句は一年に一度の楽しみ”だと思えばよいものを、あわよくば、褒めてもらいたいとの邪念が心にはびこり、どちらでもいいと思いつつも、皆さんはどうなのかと気にしている自分がいる。
 そんな苦悩と戦っている時、なぜか「捻(ひね)りだす」の言葉が浮かんできました。
 「捻りだす」とは、・・・用意し難いものを何とか用意する。絞り出すとありました。

皆さんから頂いた俳句は、まさに捻りだされた言葉でした。言葉を選び紡ぎ、十七文字に季語を入れて、作らず足さず一句を投句して頂きました。

どの句も知性と教養にあふれる素晴らしい俳句でした。おかげで句会セッションも、和気藹々の内に終了しました。有難うございました。睡眠不足から解放されて何も考えずに、今夜からそっとお休みください。

M・E

【標語の部】

友達が沢山出来たロータリー 原 幸司
 例会はホスピタリティ高める場 久保顯彦
 ローター奉仕は人のためならず 高橋裕之
 入会で多彩な友人無限大 高橋裕之
 例会をいつしか楽しむロータリー 高橋裕之
 ローターの友の輪を広げよう 志波生朗
 いつの間にモラルとスキル身についた

藤江みどり

佳き人と共に高めるロータリー 榎本守男
 拡大は誘われ方と誘う人 君津RC 隈元雅博

一般選(一般句)

友語る能登の惨状冬迫る 石渡 鋼
 餅つきの子手取り上手く妻在りき 神子 恒
 古家の荒れし庭先冬薔薇 城臺彩衣
 冬木立無い散る枯葉淋げに 飯島由美
 世の仕組夏から冬へ流れゆく 朝月真次郎
 七五三燥ぐ姉妹寺の庭 白石幸久
 校庭のダリアの花咲き背比べ 志波生朗
 雪をみて気持ち高ぶる若き頃 諸岡賛陸
 オリオンの夢が逃奔千葉マリン 久保顯彦